

科目名	教育実習事後指導			ナンバリング	EDU173	授業形態	講義
対象学年	4年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	0単位
代表教員	中島清州	担当教員	石川哲夫				

授業の概要	本科目は、5～9月までに終了する教育実習での体験を基に、教育実習校での体験したことについて意見交流し、教員採用試験に向けた準備等を行う。特に、教育実習校での生徒の実態や体験したことを報告し合い、今後どのような力量を付けていくことが重要かについて吟味し深める。更に、各自の作成した学習指導案や資料を活用し、教職に対する情熱や使命感を高めることを目標とする。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育実習での体験を踏まえて、教職に対する情熱や使命感、専門的な力量がどう高まったか検証する。</li> <li>2 各自の課題について全体討議等を通して深め、レポートにまとめることにより、教職課程履修の方向性を定める。</li> <li>3 他の人と協力し合いながら、様々な活動について取り組み、教職課程履修のねらいである豊かな人間性を高める。</li> </ol>						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	教育実習校での体験を報告し合い、自分の教育理論及び実践的技術形成の歩みをレポートにまとめ、教師としての専門性をどう高めるか意欲的に取り組むこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育実習の体験を基に、教職に対する情熱や使命感、専門的な力量についての基本的な理論と実践を理解している。</li> <li>2 各自の課題について、グループ討議等を通して深め、今後の教職課程履修の方向性を確立する。</li> <li>3 他の人と協力し合いながら、様々な活動に取り組み、教職課程履修の重要なねらいである「豊かな人間力」を高める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育実習の体験を基に、教職に対する情熱や使命感、専門的な力量についての基本的な理論と実践を理解し、高めようとしている。</li> <li>2 各自の課題について、グループ討議等を通して更に深め、今後の方向性を明確に確立する。</li> <li>3 他の人と協力し合いながら、様々な活動に積極的に取り組み、さらなる「豊かな人間性」を確立しようとしている。</li> </ol>

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
授業への参加態度			○	○	○		40%
小テスト・授業内レポート	○	○					20%
宿題・授業外レポート	○						40%
出席			○	○			出席は加算対象とならず、欠席は減点対象

課題、評価のフィードバック	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テーマについて主体的に関わり互いに議論を交わし、学習内容について学修を修正し深めていく。</li> <li>2. 各時限のそれぞれの講義のレジュメを基にリフレクションペーパーに授業考察・疑問・質問項目を書き入れ、次時にフィードバックし、予習・復習に役立てる。</li> </ol>
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	「教育実習(事後)」の進め方	講義概要の説明:教育実習を向かえるに当たり、教職に対する情熱、使命感、専門性について、現在の自分の歩みを点検し、課題を深める	
	第2回	教育実習の一日の流れや手続き	・教育実習の一連の流れや手続きをレジメを基に点検し、課題を深める	
	第3回	教育実習の記録の共有と振り返り	・教育実習報告集を参考に、教育実習校へ事前・事後対応について確認する	
	第4回	教育実習に向けて(教職員としての勤務)	・サービスの原則を基に、自分の生活を点検し、課題を深める	
	第5回	教育実習に向けて(同僚性を基にした教職員としての勤務)	・指導を受ける先生との関係性はどうすべきか、自分なりの課題を深める	
	第6回	教育実習に向けて(教育実習日誌の記入)	・先輩の実習日誌を基に何をどう書くか点検し、課題を深める	
	第7回	教育実習に取り組む(1)	・教育実習の一日の流れを点検し、自分の課題を深める	
	第8回	教育実習に取り組む(2)	・教育実習の一週間目の流れを点検し、自分の課題を深める	
	第9回	教育実習に取り組む(3)	・教育実習の全体の流れを点検し、自分の課題を深める	
	第10回	教育実習を終えて(1)	・実習日誌などの資料と全体討議に基づき、自分の現在の歩みを点検し、課題を深める	
	第11回	教育実習を終えて(2)	・全体討議に基づき、自分の現在の歩みを点検し、課題を深める	
	第12回	教育実習を終えて(3)	・全体討議に基づき、自分の現在の歩みを点検し、課題を深める	
	第13回	教育実習を終えて(4)	・自分の今後の課題について報告用紙にまとめ、自分の歩みを点検し、課題を深める	
	第14回	研究授業の学習指導案を確認する	・各自の学習指導案について、全体討議を基に現在の歩みを点検し、課題を深める	
	第15回	研究授業の学習指導案をまとめる	・各自の学習指導案の最終報告を点検し、課題を深める	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。討議を必要とする授業テーマについてはグループ協同学修形態体験を取り入れる。		
授業外学習の指示		配付資料を中心に講義の内容を復習する。不明な点は必ず資料等で確認するか教員に質問すること。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	特に、なし
参考書	授業中に適宜資料を配付する。
参考URLなど	
その他	この授業は、全ての教職課程科目のまとめとなる内容である。できるだけ欠席を避けること。